

第3回 圏域地域医療構想策定委員会

圏域	阪神南圏域
日時	平成28年1月26日(火)14:00～15:30
場所	芦屋市医師会医療センター
司会	大江会長(西宮市医師会長)
出席者	欠席 町田委員、林委員、滝内委員、荒木委員、島委員 代理人が出席 水上委員、難波委員、坂本委員 上記以外は別紙委員名簿のとおり本人出席
議事次第内容	1【報告】 (1) 県立西宮病院・市立西宮病院のあり方検討の進捗を見据えた医療機能の整理について (2) 5疾病5事業に対する取り組み(現状と将来の課題) ①精神疾患(特に認知症)対策 2【議題】 兵庫県地域医療構想 阪神南圏域計画(素案)についての検討
結論	・兵庫県地域医療構想 阪神南圏域計画(素案)について、構成員から意見聴取。 ・構成員から意見聴取した内容を反映させ、修正するが、今後は部会長に一任することとする。
主な意見・質疑応答	(委員意見) ・療養病床の患者の8～9割が認知症患者であり、今後認知症患者の病床について、どのように考えていくのか大きな問題である。 ・今後考えていくべきは、地域の介護資源との連携であり、開業医にもっと頑張って在宅で診ていただきたい。県が実施している認知症サポート医養成研修を圏域で実施するなどして裾野を広げていただきたい。 ・地域の医療機関の役割分担連携体制について、県立尼崎総合医療センター(新病院)が現在の体制を維持するためには、周辺の病院との連携が最も重要。周辺の病院が経営破綻を起こしたり、医療の質が悪くなれば圏域として損失である。
次回までの課題	